

国際港湾物流に関する民間事業者間で流れる 情報の概要(前回WG以降の整理)について

第3回WGの目的および提示する事項について

- 第1回・第2回WGにおいて、「港湾関連データ連携基盤」の構築に向けた検討の方向性を確認し、実態把握の結果整理を踏まえ、検討の進め方を提示した。
- 第3回WGでは、前回までの未調整事項に対する整理案を提示するとともに、現在進めている要件検討の状況を提示する。また、WGの意見を踏まえ、要件検討を行うとともに、利用者に使用感のイメージを持っていただくことを目的とする。

第1回WG(12/20)

- 実態把握の目的・内容・整理イメージの提示
- 「港湾関連データ連携基盤」概念等の提示

第2回WG(3/15)

- 実態把握の結果整理の提示
- システム構築に関する基本的考え方及び仕様検討の進め方の提示

第3回WG の目的

- 前回WGで提示した未整理事項に対する整理結果を報告
- 要件検討の検討状況を提示
- システムの使用感についてイメージを持って頂き、一部必要な事項については意見交換を行う

<第3回WGで提示する事項>

- 民間事業者間で流れる情報の概要(前回WG以降の整理)について【資料-1】
- 「港湾関連データ連携基盤」システムの要件検討に係る取組状況の報告【資料-4】

前回WG以降に確認・整理を行った事項

- 前回WGでは、アンケート調査をもとに、①業務フローの把握、②業務と書類の対応関係、③業務と送受信者の対応、④各々の情報伝達手段、⑤書類の記載項目等のばらつき、などを確認した。
- 前回、整理未了とした事項および今後の検討とした事項について、以下のとおり確認・整理を行った。

【前回の整理未了事項】

- 全国のターミナル事業者へのアンケート調査 ⇒ 調査実施
- LCL(混載)貨物の業務フロー等の確認 ⇒ 確認・整理実施
- 内航フィーダー輸送がある場合の業務フロー等の確認 ⇒ 確認・整理実施

業務パターンの整理

【検討が必要な項目】

- 各業務における取扱書類の整理
- 業務毎の送受信者/必要書類の確認
- 送受信者の違いによる業務の流れの確認
- 対象とする業務フローの整理
- 項目のシステム内フローの整理 ⇒ 検討中
- データ項目の用語の整理
- 取扱書類の名称の整理
- データ領域の設定と対象項目の設定 ⇒ 検討中

用語名・書類名・書類記載内容の整理

全国のコンテナターミナル事業者への追加調査(調査の概要)

- 日本港運協会の協力の下、全国のコンテナターミナル事業者に追加でアンケート調査を実施。今回新たに全国84者からアンケートの回答(回答率61%)を頂き、書類サンプル51枚を提供いただいた。
- 今回の追加調査により、前回WGで整理した実態調査の整理を全国的な観点で充実させた。

地方	回答者数	回答率
北海道	5者/8者	63%
東北	5者/9者	56%
日本海地区	7者/13者	54%
千葉地区	2者/6者	33%
東京	7者/12者	58%
神奈川	10者/16者	63%
東海	9者/15者	60%
大阪	11者/12者	92%
兵庫県	7者/11者	64%
四国	5者/10者	50%
中国地方	17者/17者	100%
九州地方	17者/29者	59%
沖縄	3者/5者	64%
計	105者/163者 ※	64%

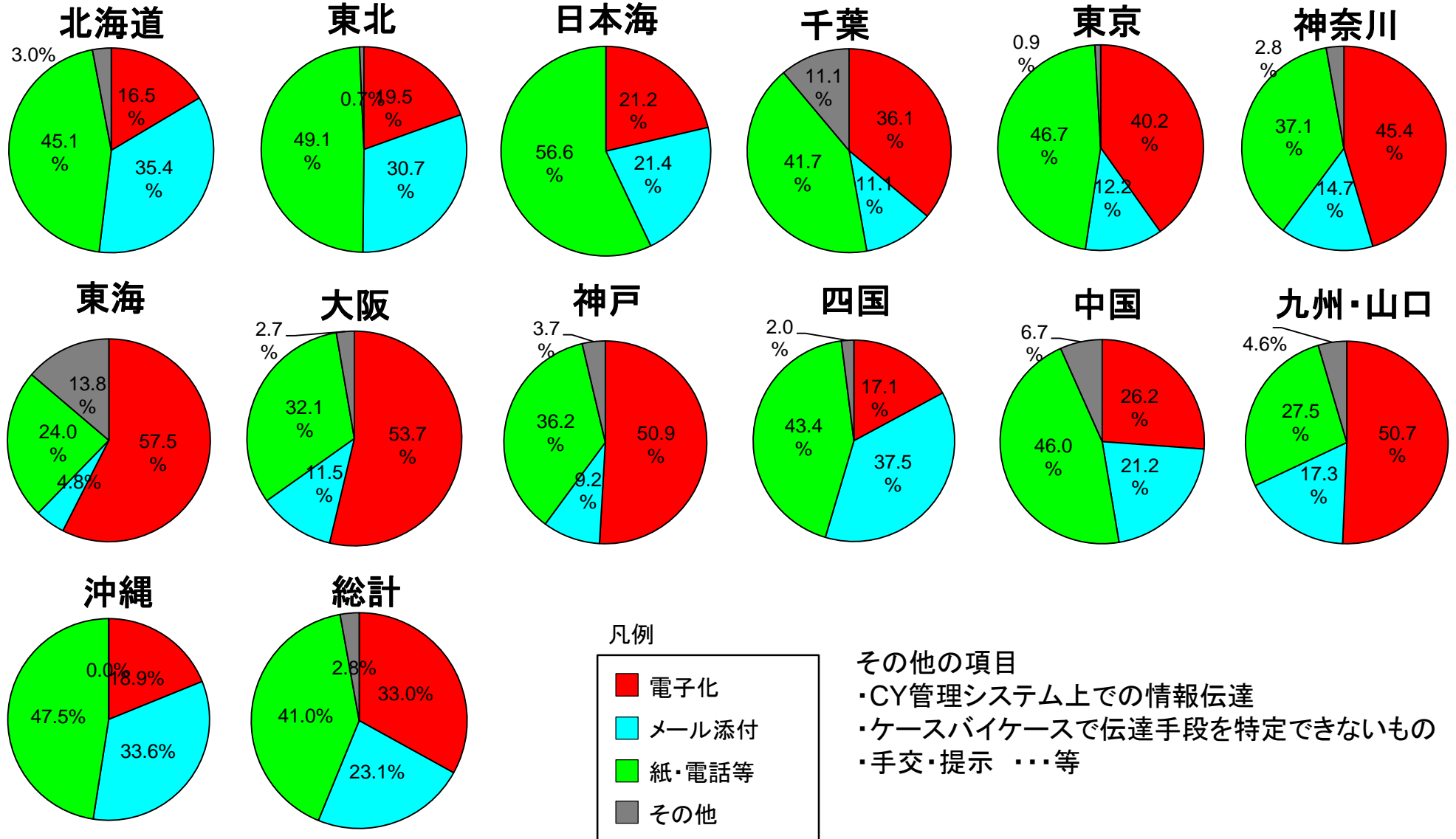
地方	港湾名
北海道	苫小牧港 小樽港 釧路港 室蘭港 函館港
東北	小名浜港 仙台塩竈港 酒田港
日本海地区	新潟港 伏木富山港 金沢港 舞鶴港 境港
千葉地区	千葉港
東京	東京港
神奈川	横浜港
東海	清水港 名古屋港
大阪	大阪港

地方	港湾名
兵庫県	神戸港
四国	高松港 松山港 今治港
中国地方	広島港 水島港 福山港 岩国港 徳山下松港 三田尻中関港
九州地方	門司港 洞海(響)港 下関港 博多港 宇部港 伊万里港 大分港 細島港
沖縄	那覇港

※うち2者は、2支店分回答頂いているため、のべ回答数は107件

【参考】全国のコンテナターミナル事業者への追加調査(調査結果)

- 各地域ごとの情報伝達手段の調査結果は以下のとおり。
- 地域ごとに電子手続き割合が大きく異なる。

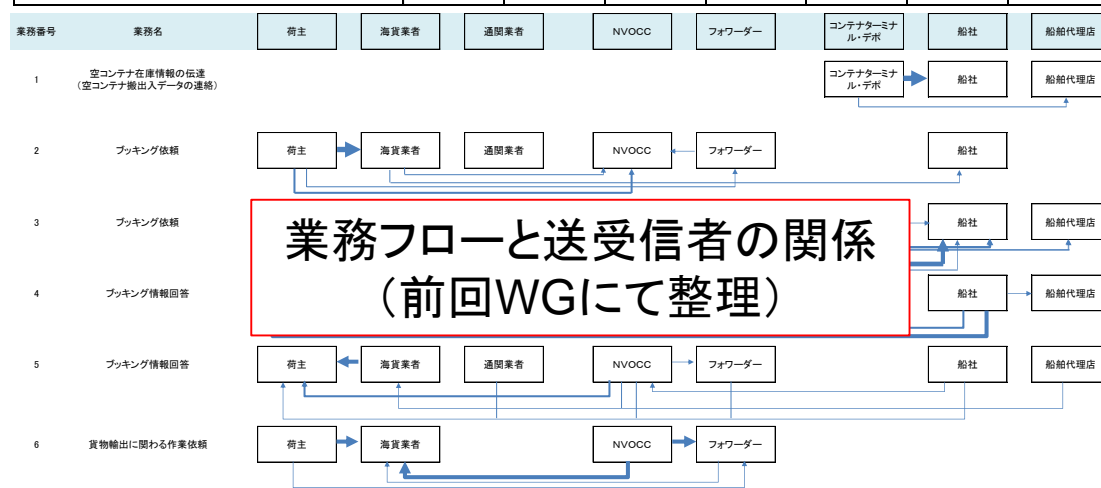


業務パターンの整理

- 前回WGでは、業務フローの整理をベースとし、①業務フローと書類の対応関係、②業務フローごとの送受信者の関係、を整理した。一方、アンケートで把握できていなかった多様なケース（FCL/LCL、荷主が海貨に委託する場合/自社で手配を行う場合等）についても追加調査を実施。
- FCL貨物の業務フローをベースに、追加調査で把握した業務を関連付け、全体を整理し、「書類フロー図」を作成した。

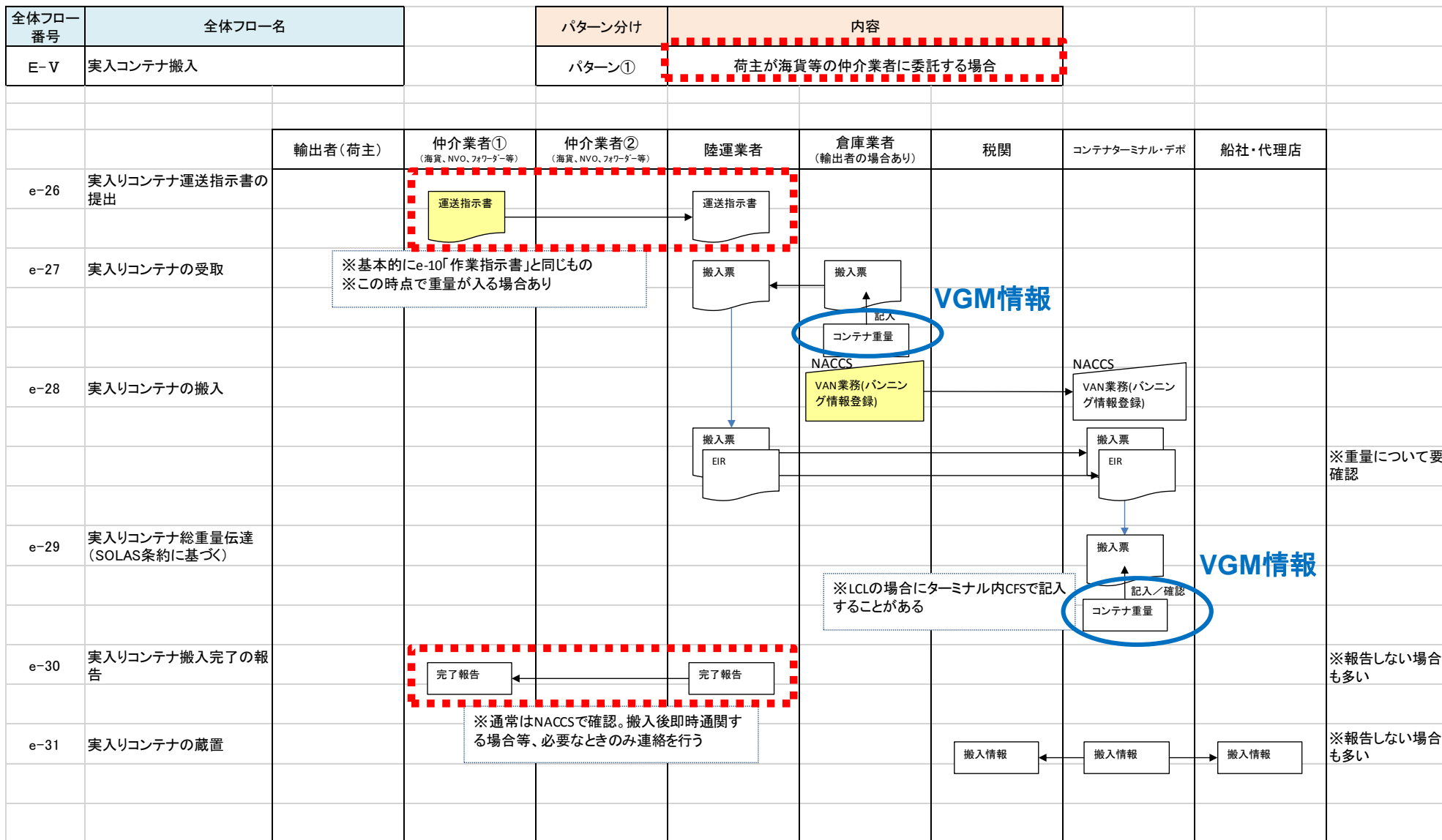
	1	2	3	4	5	6
	空コンテナ在庫情報伝達	ブッキング依頼書	危険物ブッキング依頼・明細書	船積依頼書 (SHIPPING インストラクション / S/I)	船腹予約確認書 (Booking Confirmation)	D/Rインストラクション
1 空コンテナ在庫情報の伝達						
2 ブッキング依頼① (荷主 → 海貨 等)						
3 ブッキング依頼② (荷主、海貨 → 船社 等)						
4 ブッキング情報回答① (船社 → 荷主、海貨 等)		●			●	●
5 ブッキング情報回答② (海貨 → 荷主 等)				●	●	

業務フローと書類の関係
(前回WGにて整理)

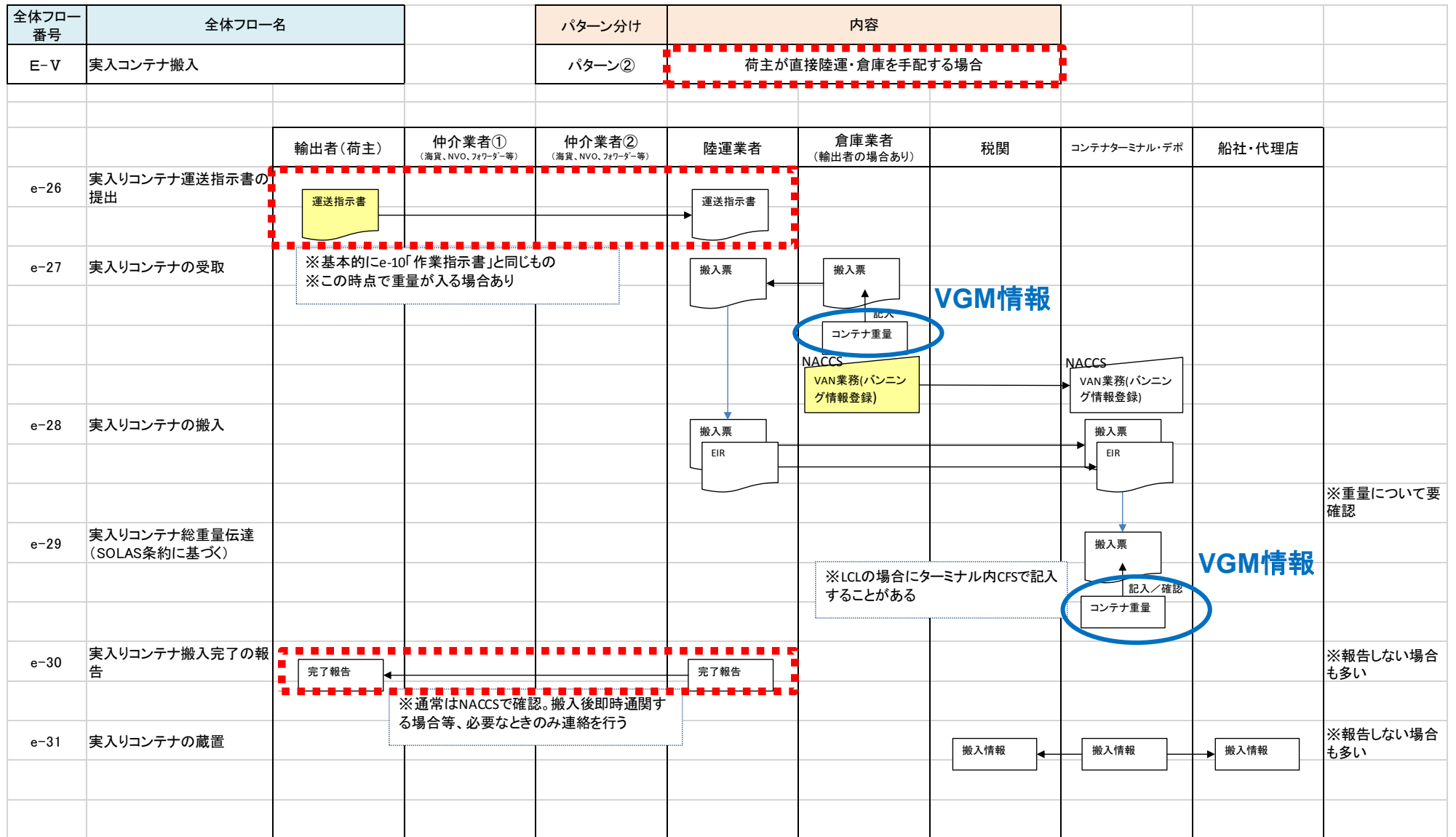


業務フローと書類・送受信者の関係をパターン分けにより整理し、数種類の基本パターンを設定

「書類フロー図」のパターン分け(実入コンテナ搬入の例①)



「書類フロー図」のパターン分け(実入コンテナ搬入の例②)

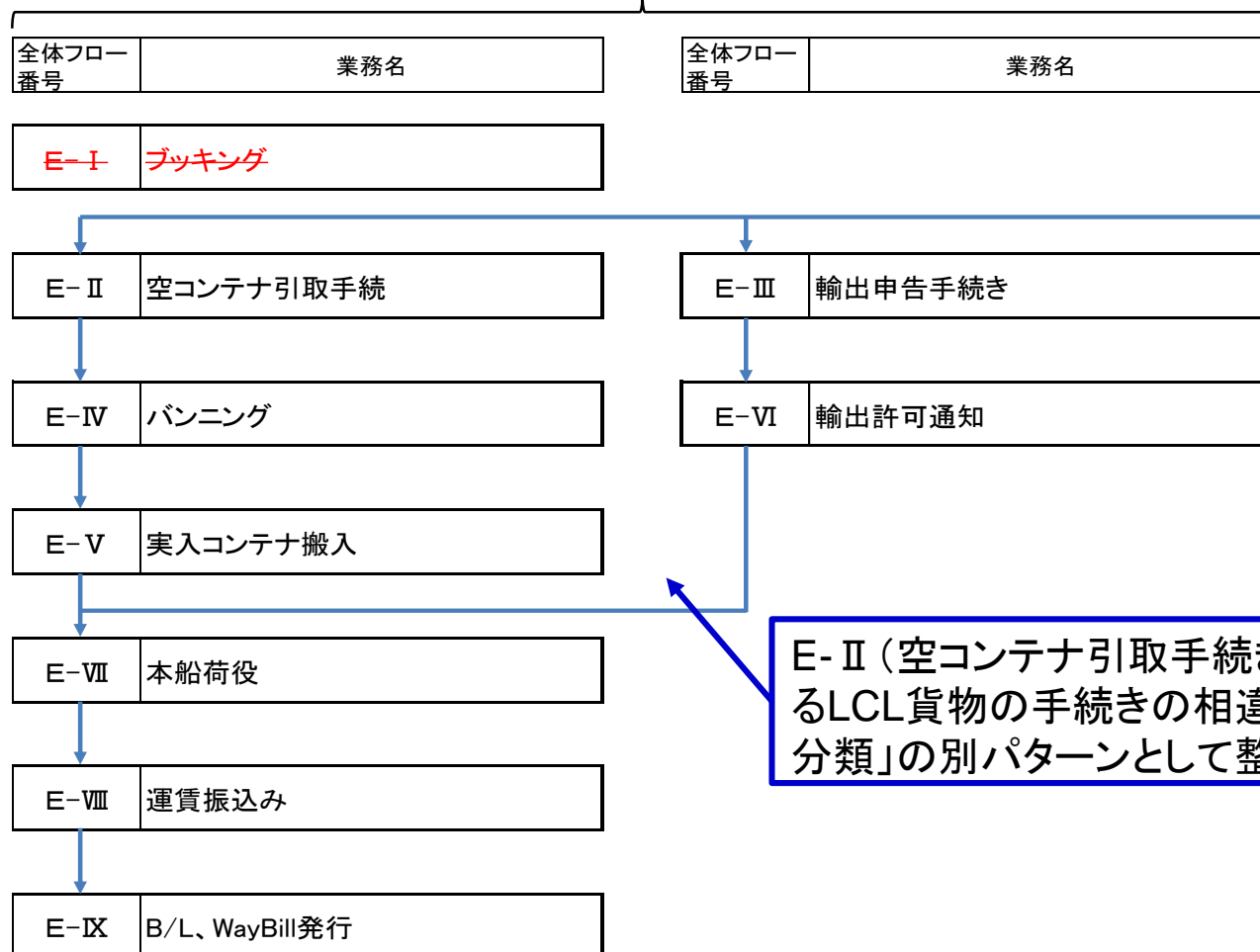


LCL貨物に関する業務フローの整理【輸出】

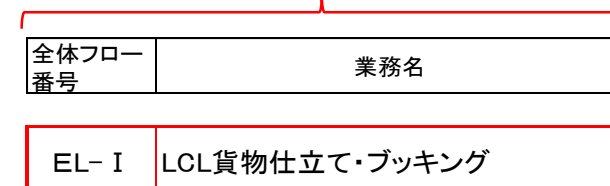
- LCL(混載)貨物の業務フローについては、日本海運貨物取扱業会、国際フレイトフォワードーズ協会など関係団体を通じた事業者へのヒアリングを実施。
- このうち輸出については、FCLの場合と比較して、ブッキング関連の手続きが異なるため、この部分は別の業務フローとして整理。ブッキング以外の部分は、同一業務フローの別パターンとして整理。

【輸出】

FCL貨物(内航なし)の場合のフロー



LCL貨物で追加となるフロー



LCL貨物の場合、E-I (ブッキング)のフローを変更

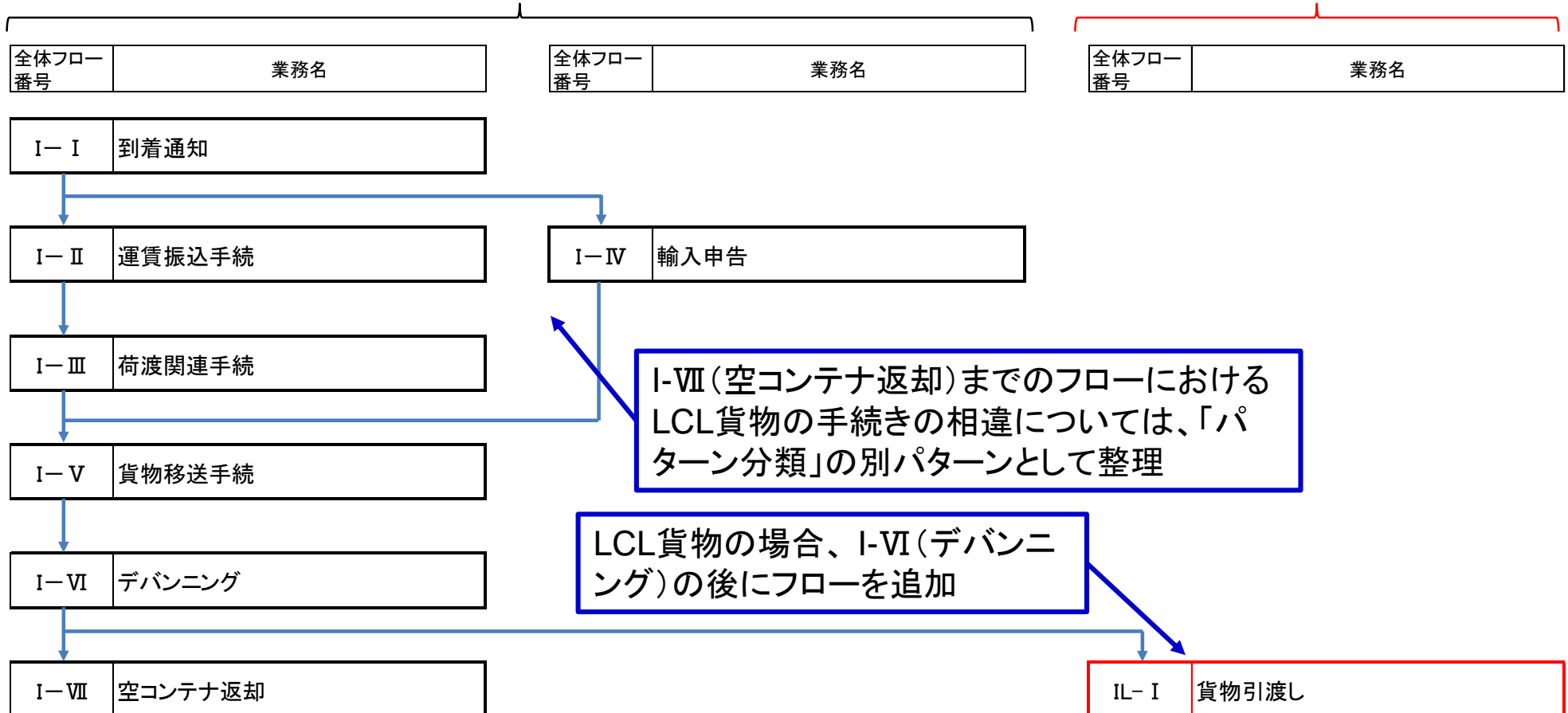
E-II (空コンテナ引取手続き)以降のフローにおけるLCL貨物の手続きの相違については、「パターン分類」の別パターンとして整理

LCL貨物に関する業務フローの整理【輸入】

○ 輸入については、FCLの場合に加え、貨物引渡しの手続きが生じるため、この部分は別の業務フローとして整理。貨物引渡し以外の部分は、同一業務フローの別パターンとして整理。

【輸入】 FCL貨物(内航なし)の場合の業務フロー

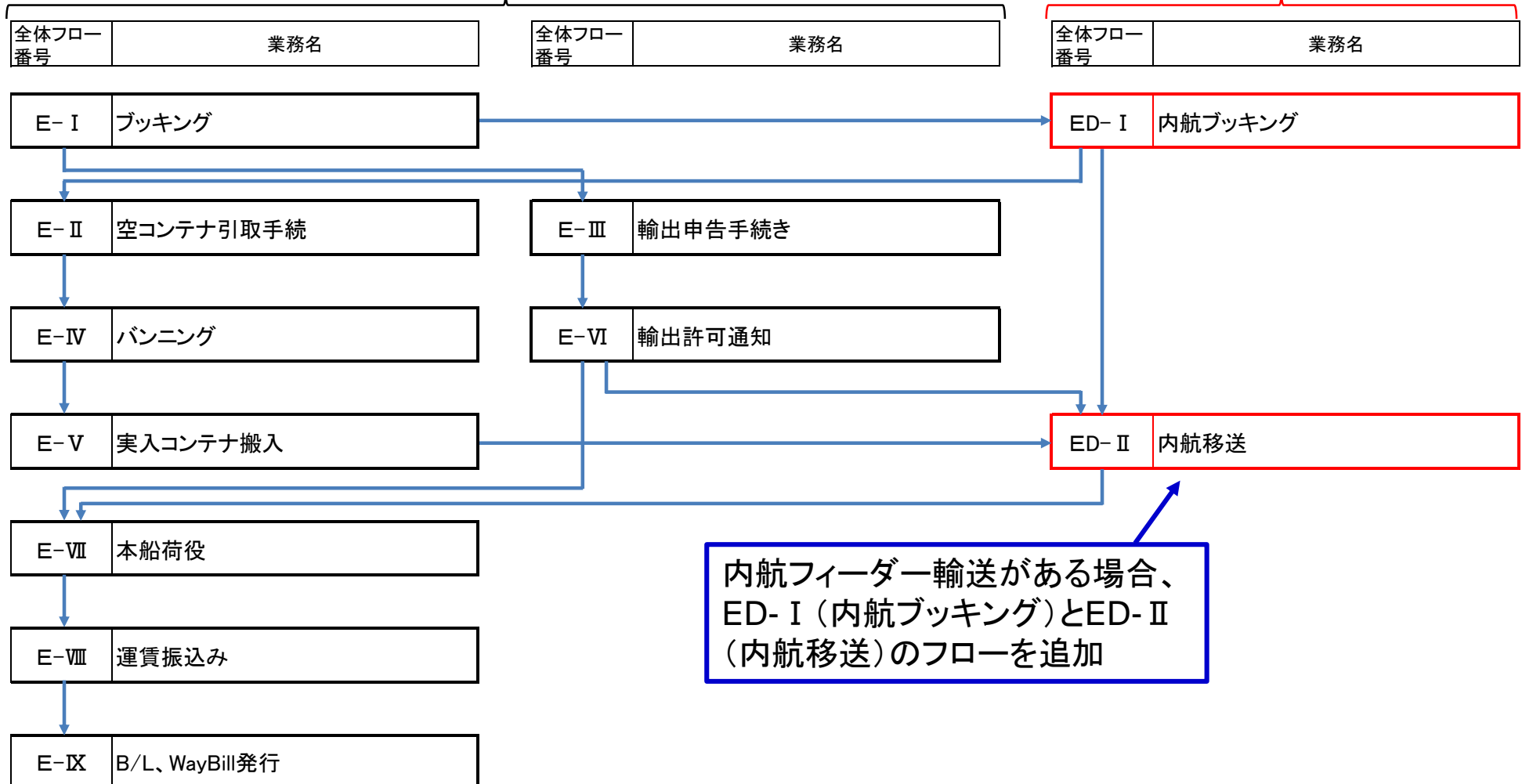
LCL貨物で追加となる業務フロー



内航フィーダー輸送に関する業務フローの整理【輸出】

- 内航フィーダー輸送がある場合の業務の流れについて、日本内航海運組合総連合会を通じた事業者へのヒアリングにより実態を把握。
- 輸出については、(外航)ブッキングの後の内航ブッキングと内航移送をそれぞれ新たな業務フローとして追加整理。

【輸出】 FCL貨物(内航なし)の場合の業務フロー 内航がある場合に追加となる業務フロー



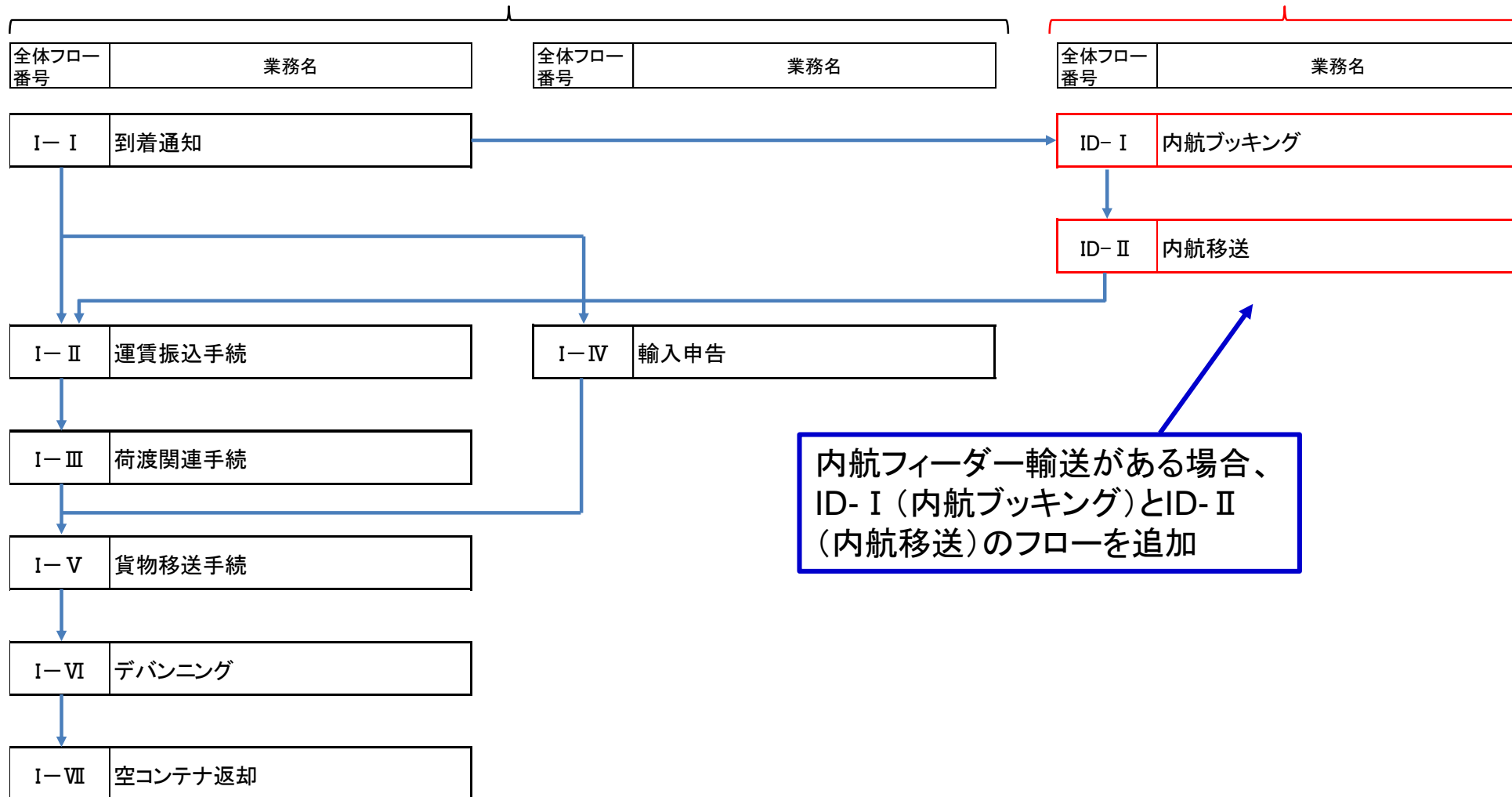
内航フィーダー輸送に関する業務フローの整理【輸入】

○ 輸出と同様に輸入についても、到着通知の後に内航ブッキングと内航移送をそれぞれ新たな業務フローとして追加整理。

【輸入】

FCL貨物(内航なし)の場合のフロー

内航がある場合に追加となる業務フロー



用語名の一覧の整理

- 書類の名称と書類の項目の名称について、サンプル調査にて提供いただいた様式に基づき、同意語ごとの記載のばらつきを整理した。
- 使用頻度の高い名称を基本としつつ、「港湾関連データ連携基盤」で扱う名称を整理中。

○書類名

○項目名

記載のばらつき	標準和名 (仮)	標準英名 (仮)	記載のばらつき	標準和名 (仮)	標準英名 (仮)
空コンテナ ピックアップオーダー	空コンテナ 搬出依頼 書	Empty Container Pick Up Order	B/L番号	B/L番号	B/L No.
空バン PICK UP ORDER SHEET			B/L NO.		
輸出空コンテナ搬出申込書			BILL OF LADING NO.		
輸出用空コンテナ/PICK UP ORDER			BL Number		
輸出空コンテナ搬出依頼書			B/L #		
EMPTY CONTAINER PICK UP ORDER			B/L(BKG)No.		
...			OCEAN BILL OF LADING		
CY輸入搬出申込書	搬出票	Dispatch Sheet	...	総重量	Gross Weight
輸入コンテナ ディスパッチ			グロス重量		
輸入CFS 搬出申込依頼書			Gross Weight (KGS)		
搬出申込書			GROSS WEIGHT		
輸入CFS貨物搬出オーダー予約表			GROSS WT (PER CTNR)		
...			WEIGHT		
...			総重量(コンテナ自重を含む)		

書類記載内容の整理

○ サンプル調査にて提供いただいた様式に基づき、書類の種類ごとに項目の和集合となる標準様式を整理中。個社システムとの接続にあたり、項目の多様性を踏まえた接続を可能とする。

全体フロー番号	全体フロー名	業務フロー番号	業務フロー名	送信者	輸出者
E-1	ブッキング	e-2	ブッキング依頼①	受信者	仲介業者

ドキュメント番号	ドキュメント名	日本語	船積依頼書	概要
		英語	Shipping Instruction	
		略称	S/I	
ED2				輸出者が仲介業者等に通関手続きや船積手続きを依頼する際に貨物の情報を伝える資料。一般的に輸出者が作成するが、輸出者の依頼を受けたフォワーダー等が作成することもある。

項番	項目名			細分項目	必須項目	説明	備考
	日本語	英語	略称				
	作成日	Date					
	作成者	Making Person		社名 (Company Name)			
	"	"		担当者名 (In Charge)			
	"	"		電話/FAX (TEL/FAX)			
	"	"		メールアドレス (E-Mail)			
	得意先 (送付先)	Customers					
	パターン	Pattern					
	連絡先	Contact Company		社名 (Company Name)			
	"	"		担当者名 (In Charge)			
	"	"		電話/FAX (TEL/FAX)			
	"	"		メールアドレス (E-Mail)			
	同報先	Distribution Destination					
	依頼先	Request Destination					
	作業形態	Working Form					
	保険	Insurance					
	S/I番号	S/I No					

○ 今後、システムを持っていない利用者が「港湾関連データ連携基盤」に直接入力する際の画面の設計にあたり、標準設定とする項目を検討する

○ WG終了後に確認をお願いしたい。

○港湾関連データ連携基盤の要件検討について、これまでに提示した整理を踏まえ、以下の流れで引き続き進めていく。

要件定義に向けた情報の整理

要件検討を実施する事項

CT事業者
への調査

対象とする業務の全体像の整理

システム内の情報の流れに関すること

項目のデータ連携基盤内の流れの整理

項目・用語の表記方法の整理

標準様式の作成

帳票
情報・データ

機能構成・画面

信頼性・セキュリティ
(非機能要件)

…等

前回
WG

書類名・
項目名・
標準様式
の整理

LCL・内航
の調査

外部システムとの接続に関すること

各業務と書類の関係性の整理

各業務における情報入出力者の整理

各業務における情報入出力方法の整理

外部イン
ターフェース

業務
パターン
の整理